

注3

大学番号：私325

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

東大阪大学短期大学部 介護福祉学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人村上学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 学科長 タカノ 鷹野 カズミ 和美

電話番号 06-6782-2824

（夜間） 06-6782-2824

F A X 06-6782-2896

e-mail kaigofukushi@higashiosaka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出

について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

東大阪大学短期大学部

<介護福祉学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 留意事項等に対する履行状況等	17
7. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人村上学園

(2) 大学名

東大阪大学短期大学部

(3) 大学の位置

〒577-8567

大阪府東大阪市西堤学園町3丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	ムラカミ ヤスヒラ 村上 靖平 (平成4年9月)		
学長	ムラカミ ヤスヒラ 村上 靖平 (平成27年4月)		
学部長			
学科長等	タカノ カズミ 鷹野 和美 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
介護福祉学科 短期大学士 (介護福祉)	社会学・社会福祉学関係	2年	80人	- 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	80人 0人 (-) [80]		1.01倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	102 (-) [99]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	101 (-) [98]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	94 (-) [78]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	81 (-) [78]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A							1.01			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数**で算出してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	81 [78] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/				[-] (-)	[-] (-)			
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	81 [78] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	81人	0人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	81人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{81} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<介護福祉学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教養科目	日本国憲法	2前	2								兼1	
	社会学	2後	2								兼1	
	政治	1前	2								兼1	
	経営	2前	2								兼1	
	異文化理解	2後	2								兼1	
	国際事情	2後	2								兼1	
	文学	2前	2								兼1	
	数学(基礎)	2後	2								兼1	
	生物学	2前	2								兼1	
	情報処理Ⅰ(統計)	1前	1								兼1	
	情報処理Ⅱ(統計)	1後	1								兼1	
	体育	2前	1								兼1	
	英語Ⅰ	1前	1								兼1	
	英語Ⅱ	1後	1								兼1	
	中国語Ⅰ	1前	1								兼1	
	中国語Ⅱ	1後	1								兼1	
	韓国語Ⅰ	1前	1								兼1	
韓国語Ⅱ	1後	1								兼1		
日本語Ⅰ	1前	1			1							
日本語Ⅱ	1後	1			1							
日本語Ⅲ	2前	1			1							
日本語Ⅳ	2後	1			1							
多文化共生	1前	1			1					兼1		
小計(23科目)	—	3	29	0	1	0	0	0	0	0	兼12	
専門科目	人間と社会	人間の尊厳と自立支援	1前	2			1					
		人間の理解とコミュニケーションの基礎	1前	1			1					
		社会福祉	1前	2			1					
		介護保険法と介護に関する諸制度	1後	2			1					
	介護	介護の基本Ⅰ	1通	4						1		
		介護の基本Ⅱ	2前	2			1					
		介護の基本Ⅲ	2前	1			1					
		介護の基本Ⅳ	2通	2						1		
		コミュニケーション技術Ⅰ	1後	1						1		
		コミュニケーション技術Ⅱ	1後	1						1		
		生活支援技術Ⅰ	1通	2		1						
		生活支援技術Ⅱ	1通	2							1	兼1
		生活支援技術Ⅲ	2通	2							1	兼1
		生活支援技術Ⅳ	2通	2							1	兼1
		生活支援技術Ⅴ	2通	2							1	兼1
		介護過程Ⅰ	1通	2						1		
		介護過程Ⅱ	2通	2						1		
		介護過程Ⅲ	2後	1						1		
		介護総合演習Ⅰ	1通	2					1			
		介護総合演習Ⅱ	2通	2					1			
介護実習Ⅰ	1通	6			3	0	1	4	2			
介護実習Ⅱ	2前	4			3	0	1	4	2			
こころとからだのしくみ	人間の成長と老年期の理解	2通	4								兼1	
	認知症のこころとからだの変化	2通	4								兼1	
	障害福祉Ⅰ	1前	2						1			
	障害福祉Ⅱ	1後	2		1							
	こころとからだのしくみⅠ	1通	4								兼1	
	こころとからだのしくみⅡ	1通	4								兼1	
医療的ケア	医療的ケアⅠ	2前	2								兼1	
	医療的ケアⅡ	2後	2								兼1	
	医療的ケアⅢ	2後	1								兼1	
小計(31科目)	—	23	49	0	3	0	1	4	2	兼5		
合計(54科目)	—	26	78	0	4	0	1	4	2	兼17		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般教養科目	日本国憲法	2前	2									兼1	
	社会学	2後	2									兼1	
	政治	1前	2									兼1	
	経営	2前	2									兼1	
	異文化理解	2後	2									兼1	
	国際事情	2後	2									兼1	
	文学	2前	2									兼1	
	数学(基礎)	2後	2									兼1	
	生物学	2前	2									兼1	
	情報処理Ⅰ(統計)	1前	1									兼1	
	情報処理Ⅱ(統計)	1後	1									兼1	
	体育	2前	1									兼1	
	英語Ⅰ	1前	1									兼1	
	英語Ⅱ	1後	1									兼1	
	中国語Ⅰ	1前	1									兼1	
	中国語Ⅱ	1後	1									兼1	
	韓国語Ⅰ	1前	1									兼1	
韓国語Ⅱ	1後	1									兼1		
日本語Ⅰ	1前	1					1						
日本語Ⅱ	1後	1					1						
日本語Ⅲ	2前	1					1						
日本語Ⅳ	2後	1					1						
多文化共生	1前	1					1				兼1		
小計(23科目)	—	3	29	0	1	0	0	0	0	0	兼12		
専門科目	人間と社会	人間の尊厳と自立支援	1前	2				1					
		人間の理解とコミュニケーションの基礎	1前	1				1					
		社会福祉	1前	2				1					
		介護保険法と介護に関する諸制度	1後	2				1					
	介護	介護の基本Ⅰ	1通	4							1		
		介護の基本Ⅱ	2前	2				1					
		介護の基本Ⅲ	2前	1				1					
		介護の基本Ⅳ	2通	2							1		
		コミュニケーション技術Ⅰ	1後	1							1		
		コミュニケーション技術Ⅱ	1後	1							1		
		生活支援技術Ⅰ	1通	2		1							
		生活支援技術Ⅱ	1通	2								1	兼1
		生活支援技術Ⅲ	2通	2								1	兼1
		生活支援技術Ⅳ	2通	2								1	兼1
		生活支援技術Ⅴ	2通	2								1	兼1
		介護過程Ⅰ	1通	2							1		
		介護過程Ⅱ	2通	2							1		
		介護過程Ⅲ	2後	1							1		
		介護総合演習Ⅰ	1通	2						1			
		介護総合演習Ⅱ	2通	2						1			
介護実習Ⅰ	1通	6			3	0	1	4	2				
介護実習Ⅱ	2前	4			3	0	1	4	2				
こころとからだのしくみ	人間の成長と老年期の理解	2通	4									兼1	
	認知症のこころとからだの変化	2通	4									兼1	
	障害福祉Ⅰ	1前	2							1			
	障害福祉Ⅱ	1後	2		1								
	こころとからだのしくみⅠ	1通	4									兼1	
	こころとからだのしくみⅡ	1通	4									兼1	
医療的ケア	医療的ケアⅠ	2前	2									兼1	
	医療的ケアⅡ	2後	2									兼1	
	医療的ケアⅢ	2後	1									兼1	
小計(31科目)	—	23	49	0	3	0	1	4	2	兼5			
合計(54科目)	—	26	78	0	4	0	1	4	2	兼17			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

特になし。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	78 科目	0 科目	104 科目	0 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	0 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{104} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	東大阪大学（必要面積3,600 ㎡）と共有		
	校舎敷地	0㎡	5,575.98㎡	0㎡	5,575.98㎡			
	運動場用地	0㎡	3,491.69㎡	0㎡	3,491.69㎡			
	小 計	0㎡	9,067.67㎡	0㎡	9,067.67㎡			
	そ の 他	0㎡	11,893.16㎡	0㎡	11,893.16㎡			
	合 計	0㎡	20,960.83㎡	0㎡	20,960.83㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<ul style="list-style-type: none"> ・所属・用途変更 大学・短大共用431異文化研 究交流センター（管理・その 他）118.60㎡を学校法人で留 学生在籍管理をするため国際 交流センター（法人所属）に 変更 短大専用の87A国際介護福祉 学研究センター（管理・その 他）41.32㎡を大学・短大共 用地域連携教育センター(1) （管理・その他）に変更 大学専用学部長室（管理・そ の他）31.84㎡を大学・短大 共用地域連携教育センター (2)（管理・その他）に変更 短大専用931実践食物学実験 室（実験・実習室）123.57㎡ を大学専用に誤記入したこと の訂正 短大専用93A研究室（研究 室）40.05㎡を大学専用に誤 記入したことの訂正 ・登記による錯誤 大学・短大共用（管理・その 他）6.95㎡の増（校舎面積） 大学専用（体育施設）6.35㎡ の減（建物面積） 		
		3,962.97㎡	9,867.87㎡	2,987.99㎡	16,818.83㎡			
		3,840.67㎡	9,906.36㎡	3,183.45㎡	16,930.48㎡			
		(3,962.97㎡)	(9,867.87㎡)	(2,987.99㎡)	16,818.83㎡			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	17室	83室	9室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	介護福祉学科			6 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	<ul style="list-style-type: none"> 大学全体での共有分 図書75,008冊〔6,190冊〕 図書74,964冊〔6,190冊〕 学術雑誌608冊〔-〕 電子ジャーナル1〔-〕
	介護福祉学科	2,718〔145〕 (2,718〔145〕) -(2,674〔145〕)-	2〔-〕 (-〔-〕)	-〔-〕 (-〔-〕)	110 (110)	277 (277)	- -	
	計	2,718〔145〕 (2,718〔145〕) -(2,674〔145〕)-	2〔-〕 (-〔-〕)	-〔-〕 (-〔-〕)	110 (110)	277 (277)	- -	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	903.40㎡	116		50,000				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	609.00㎡	テニスコート（一面）						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	301千円	206千円	201千円
		共 同 研 究 費 等	1,750千円	1,750千円	設備購入費	2,133	0千円	0千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,360千円	1,080千円	—	—	—	—	
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入, 寄付金収入, 附随事業・収益事業収入, 受取利息・配当金収入, 雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成 30 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延) がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東大阪大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
介護福祉学科	2	80	-	160	短期大学士 (介護福祉学)	1.01	平成30年度	大阪府東大阪市 西堤学園町3丁目1-1	
実践食物学科	2	70	-	140	短期大学士 (健康栄養学)	0.53	昭和40年度	同上	
実践保育学科	2	80	-	160	短期大学士 (幼児教育学)	0.77	昭和45年度	同上	
大学の名称	東大阪大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
こども学部	4	85	10	360	学士 (こども学)	0.84	平成15年度	大阪府東大阪市 西堤学園町3丁目1-1	
こども学科	4	60	3年次 7	254	学士 (こども学)	0.89	平成15年度	同上	
アジアこども学科	4	25	3年次 3 人	106	学士 (こども学)	0.75	平成23年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<介護福祉学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	鷹野 和美 (60) <平成30年 4月> 人間の尊厳と自立支援 人間の理解とコミュニケーションの基礎 介護保険法と介護に関する諸制度 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ	専	教授	鷹野 和美 (60) <平成30年 4月> 人間の尊厳と自立支援 人間の理解とコミュニケーションの基礎 介護保険法と介護に関する諸制度 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ
専	教授	梓川 一 (執行 一郎) (54) <平成30年 4月> 社会福祉 介護の基本Ⅲ 障害福祉Ⅱ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ	専	教授	梓川 一 (執行 一郎) (54) <平成30年 4月> 社会福祉 介護の基本Ⅲ 障害福祉Ⅱ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ
専	教授	李 相済 (57) <平成30年 4月> 介護の基本Ⅱ 生活支援技術Ⅰ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ	専	教授	李 相済 (57) <平成30年 4月> 介護の基本Ⅱ 生活支援技術Ⅰ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ
専	助教	川根(鈴木) 徳雄 (61) <平成30年 4月> コミュニケーション技術Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 障害福祉Ⅰ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ	専	助教	川根(鈴木) 徳雄 (61) <平成30年 4月> コミュニケーション技術Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 障害福祉Ⅰ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ
専	教授	石鍋 浩 (50) <平成30年 4月> 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 多文化共生	専	教授	石鍋 浩 (50) <平成30年 4月> 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 多文化共生
専	講師	五十嵐 雅浩 (57) <平成30年 4月> 介護総合演習Ⅰ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ	専	講師	五十嵐 雅浩 (57) <平成30年 4月> 介護総合演習Ⅰ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ
専	助教	重松 義成 (45) <平成30年 4月> 介護の基本Ⅰ コミュニケーション技術Ⅱ 介護過程Ⅱ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ	専	助教	重松 義成 (45) <平成30年 4月> 介護の基本Ⅰ コミュニケーション技術Ⅱ 介護過程Ⅱ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ
専	助教	富岡 郁子 (56) <平成30年 4月> 介護の基本Ⅳ 介護過程Ⅰ 介護過程Ⅲ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ	専	助教	富岡 郁子 (56) <平成30年 4月> 介護の基本Ⅳ 介護過程Ⅰ 介護過程Ⅲ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ
専	助教	山内 弘美 (52) <平成30年 4月> 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ	専	助教	山内 弘美 (52) <平成30年 4月> 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	大矢 智子 (63) <平成30年 4月> 英語 I 英語 II	兼任	教授	大矢 智子 (63) <平成30年 4月> 英語 I 英語 II
兼任	教授	野々村 宜博 (62) <平成31年 4月> 日本国憲法 社会学	兼任	教授	野々村 宜博 (62) <平成31年 4月> 日本国憲法 社会学
兼任	講師	柿内 貞宣 (67) <平成31年 4月> 体育	兼任	講師	柿内 貞宣 (67) <平成31年 4月> 体育
兼任	講師	水野 智彦 (62) <平成30年 4月>	兼任	講師	水野 智彦 (62) <平成30年 4月>
兼任	講師	品川 哲也 (35) <平成30年 4月> 数学(基礎) 情報処理 I (統計) 情報処理 II (統計)	兼任	講師	品川 哲也 (35) <平成30年 4月> 数学(基礎) 情報処理 I (統計) 情報処理 II (統計)
兼任	講師	龐 志達 (34) <平成30年 4月> 中国語 I 中国語 II	兼任	講師	龐 志達 (34) <平成30年 4月> 中国語 I 中国語 II
兼任	講師	金 慧英 (35) <平成30年 4月> 韓国語 I 韓国語 II	兼任	講師	金 慧英 (35) <平成30年 4月> 韓国語 I 韓国語 II
兼任	准教授	梅田 真樹 (47) <平成31年 4月> 生物学			
兼任	准教授	崔 圭皓 (53) <平成31年 4月> 経営	兼任	准教授	崔 圭皓 (53) <平成31年 4月> 経営
兼任	講師	鄭 喜先 (55) <平成31年 4月> 文学	兼任	講師	鄭 喜先 (55) <平成31年 4月> 文学
兼任	講師	金 善暻 (42) <平成31年 4月> 異文化理解	兼任	講師	金 善暻 (42) <平成31年 4月> 異文化理解
兼任	講師	丸山 千枝 (57) <平成30年 4月> 生活支援技術 II 生活支援技術 III	兼任	講師	丸山 千枝 (57) <平成30年 4月> 生活支援技術 II 生活支援技術 III
兼任	講師	李 智子 (41) <平成31年 4月> 生活支援技術 IV 生活支援技術 V	兼任	講師	李 智子 (41) <平成31年 4月> 生活支援技術 IV 生活支援技術 V
兼任	講師	渡邊 典代 (59) <平成31年 4月> 人間の成長と老年期の理解 認知症のこころとからだの変化	兼任	講師	渡邊 典代 (59) <平成31年 4月> 人間の成長と老年期の理解 認知症のこころとからだの変化
兼任	講師	羽鹿 都志子 (62) <平成31年 4月> 医療的ケア I 医療的ケア II 医療的ケア III	兼任	講師	羽鹿 都志子 (62) <平成31年 4月> 医療的ケア I 医療的ケア II 医療的ケア III
兼任	講師	小田 容子 (56) <平成30年 4月> こころとからだのしくみ I こころとからだのしくみ II	兼任	講師	小田 容子 (56) <平成30年 4月> こころとからだのしくみ I こころとからだのしくみ II
兼任	講師	尹 惠彦 (36) <平成30年 4月> 多文化共生	兼任	講師	尹 惠彦 (36) <平成30年 4月> 多文化共生

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・梅田講師就任辞退。後任は、2年次開講科目のため、平成31年4月から兼任教員採用予定で募集中。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
7	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
4	1	1	3	9	4	0	1	4	9	4	0	1	4	9
(4)	(0)	(1)	(4)	(9)						[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	中野 一茂	必修	介護の基本Ⅳ	①	一身上の都合のため就任辞退（30）	
			必修	介護過程Ⅰ	①		
			必修	介護過程Ⅲ	①		
			選択	介護実習Ⅰ	①		
			選択	介護実習Ⅱ	①		
2	助教	久田 貴幸	選択	介護実習Ⅰ	①	一身上の都合のため就任辞退（30）	
			選択	介護実習Ⅱ	①		
合計（D）			後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
2	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計（F）			後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
2	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+F}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{9} = \boxed{22.22} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)	1. 留学生への対応として学修面、生活面等における多様なサポート体制を設ける計画となっているが、窓口や対応者が複数にわたることから、規程等を整備し、責任体制や情報共有が適切に行われるように適切な体制を構築すること。また、留学生の日本語能力の向上をどのように図るのかについても適切な学内体制の下で検討し、留学生支援の充実に努めること。	留意事項	設置以前は、異文化研究交流センターと国際交流センターが留学生のサポートを分担して行っていたが、介護福祉学科設置に至り、学園及び学内組織を変更し、業務内容を明確化してカレッジガイドに掲載し、窓口を国際交流センターに一本化した。 学内のネットワークにより、出欠の状況及び資格外活動等生活状況等について、毎日、国際交流センターと介護福祉学科の教員全員が共有するシステムを構築して運用している。 留学生に対する医療福祉の専門用語の教育を他大学において行ってきた石鍋教授を専任として雇用して、日本語を必須科目とし、全員履修することとした。又、介護福祉学科の教員8名がそれぞれの担当科目において、板書の漢字にルビをふる等の支援体制を敷き、毎時間理解度を確認している。	履行済
	2. 学生確保に関する取組みを確実に実行し定員を充足するよう工夫すること。その際、申請書に掲げられているとおり、「日本人学生と外国人留学生、各々半数程度ずつ」となるように留意すること。	留意事項	定員80名を充足するために、オープンキャンパス、広報等に力を入れて、学生確保に努めた。そうした努力により、定員を上回る81名の入学者を確保した。 一方、設置認可後の告知となったため、殆ど日本人の高等学校の生徒の進学先が決定した後に募集活動を開始せざるを得なかった。計画書に記した日本人50%・留学生50%の比率を目指したが、日本人学生は、附属高等学校からの1名のみの入学となった。 本年度は、日本人学生確保のため、各高等学校訪問や保護者対象の説明会に積極的に参加することに努めている。	履行済

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)	3. 留学生選抜入試について、自己推薦書と面接審査において、どのようにN2レベルと同等以上とみなすかを十分に検証し、日本語能力を的確に判定することができるように留意すること。	自己推薦書50点、面接50点として、採点した。推薦書は二人の教員がそれぞれ採点し、その平均値により、概ね標準的な日本語文書を書くことのできるレベルを判断した。面接については、聴解、会話を2名の面接員がそれぞれ採点し、その平均値により、大学教育レベルを理解できると判断したものを合格とした。更に、日本語学校から日本語教師を招き、受験生の日本語能力を独自に判定し、N2レベルにあることを保証した。	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<介護福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・FD・SD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD・SD研修を年2回開催し、教員は全員参加を原則としている。

c 委員会の審議事項等

在学生対象のアンケート調査を実施し、その結果を参考として、FD・SD委員会で改善すべき点について、審議し実施している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

b 実施方法

教員の資質向上のために授業の相互参観を実施し、その後、スモールグループによるミーティングを行い、相互に意見交換した。新任教員等に対して、就任時にFD委員会から授業時にFD委員会から授業に関するレクチャーを行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全員

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

配布資料、パワーポイント等の教材開発に活かしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

ユニバーサルパスポートを使って、アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

アンケート結果は、全教員・学生共にアクセスできる環境を整えている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
新学科設置から、1か月であるため、総括評価は難しいが、現在のところ、設置の趣旨・目的に向けて努力している次第である。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・平成31年5月1日 公表
- b 公表方法
記入例)
・大学ホームページ上に公開予定（平成31年8月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成29年度に評価機関の評価を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)
- b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成31年5月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。